

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	スポーツ整形外科学	講義	4	60	機能解剖学
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
AT学科 1年生	坂田 悟	☐ 有 ☒ 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
・代表的なスポーツ外傷・障害の疫学、病態、発生機転、予防、一般的治療プロセスについて説明できる。 ・重篤な外傷や疾病についての疫学、病態、発生機転、予防、一般的治療プロセスについて説明できる。 ※必須:トリプルH(心臓突然死、頭頸部外傷、労作性熱中症) ・スポーツ現場で起こりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病を説明できる。 ・対象別(女性、高齢者、発育期、パラアスリート)によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項を説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
本科目では、スポーツ活動中に発症しうる外傷・障害や内臓諸器官の疾病、更には重篤な外傷や疾病に関する基礎知識について理解する。また、これらの外傷・障害・疾病からのスポーツへの復帰プロセスで留意すべき点を理解し、関連医療職とのコミュニケーションを円滑にすすめるための知識と態度の習得をねらいとする。					
教科書・参考書					
スポーツ医学概論 他、参考書籍					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		オリエンテーション 総論		/	
2		脳神経外科的病態 整形外科的病態 不活動に伴う生体反応と病態 (運動器)		/	
3		皮下血種・頭部挫創 頭蓋骨骨折 頭蓋内出血・脳損傷 脳震盪		/	
4		頸椎捻挫 バーナー症候群		/	
5		頸髄損傷 頸椎椎間板ヘルニア		/	
6		胸部外傷 腹部外傷 体幹筋群肉離れ		/	
7		腰椎椎間板ヘルニア 腰椎分離症 その他の腰痛		/	
8		肩関節脱臼 肩腱板損傷		/	
9		肩鎖関節脱臼 鎖骨骨折		/	
10		投球障害肩 肩関節唇損傷 上腕二頭筋長頭腱炎		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		UCL損傷 テニス肘 野球肘		/	
12		手指・手関節の障害		/	
13		TFCC損傷 手指の外傷		/	
14		手関節の外傷		/	
15		肩・肘周囲		/	
16		手根管症候群 Guyon管症候群		/	
17		グロインペイン症候群 寛骨臼股関節唇損傷 骨盤裂離骨折		/	
18		大腿四頭筋肉離れ 大腿ハムストリングス肉離れ		/	
19		大腿部打撲 大腿骨疲労骨折		/	
20		定期試験		/	